

# 市職員の給与などを公表

市職員の給与や任免の状況など人事行政の運営状況を公表します

問合わせ 人事行政について 職員課 ☎(740)1142  
職員数について 企画財政課 ☎(740)1130

※記載のない限り、数値は令和2年4月1日現在

## 職員の給与と手当

市職員の給与は、毎月支給される給料と、扶養・地域・住居手当などから構成されています。仕事内容や国家公務員・近隣他都市の職員・民間企業従事者の給与とのバランスなどを考慮し、市議会で議決され、条例で定めています。

また、市長や議長、議員などの特別職の給料や報酬は、学識経験者や市内の公共団体の代表などで構成する「特別報酬等審議会」で審議されており、その答申に基づいて市議会で議決され、定められています。

なお、下表の報酬と給与削減に加えて、令和2年度には、新型コロナウイルス感染症対策

職員の約60%は行政職給料表で給料月額が決まっています

## 職員などの給与

### ■職員の平均給料・給与月額

|       | 平均給料月額<br>(前年度増減)      | 平均給与月額<br>(前年度増減)      | 平均年齢<br>(前年度増減)  |
|-------|------------------------|------------------------|------------------|
| 一般行政職 | 30万7,729円<br>(+ 891円)  | 41万7,110円<br>(△1,339円) | 41.8歳<br>(+0.4歳) |
| 技能労務職 | 32万7,350円<br>(△1,578円) | 43万 29円<br>(△6,575円)   | 47.5歳<br>(+0.4歳) |

※「平均給与月額」は、給料月額と職員手当(期末・勤勉・退職手当を除く)の合計額です。

### ■職員の初任給と経験年数別平均給料月額

|       |     | 初任給       | 経験年数10年   | 経験年数20年   | 経験年数30年   |
|-------|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 一般行政職 | 大学卒 | 18万2,200円 | 26万4,433円 | 36万1,015円 | 37万9,510円 |
|       | 高校卒 | 15万1,800円 | 21万8,800円 | —         | 36万7,950円 |
| 技能労務職 | 高校卒 | 14万6,200円 | 20万6,900円 | 28万4,975円 | 35万1,033円 |

※技能労務職の初任給は卒業後、直ちに採用される場合です。

※対象者がいない場合は(—)で記載しています。

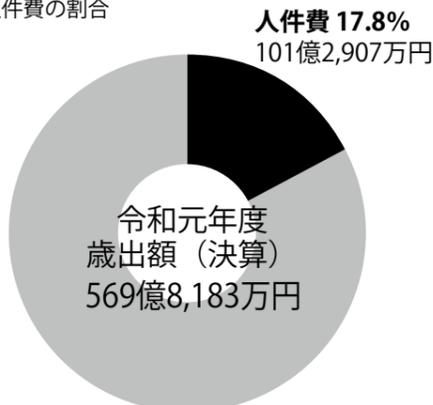
### ■特別職の報酬と給与削減

|     | 給料(報酬)月額  | 年 収          | 削減内容           |
|-----|-----------|--------------|----------------|
| 市長  | 83万4,700円 | 1,510万3,896円 | 給料の15%と期末手当の一部 |
| 副市長 | 71万6,400円 | 1,296万3,258円 | 給料の10%と期末手当の一部 |
| 議長  | 70万1,000円 | 1,175万5,770円 | 期末手当の一部        |
| 副議長 | 62万9,000円 | 1,054万8,330円 | 期末手当の一部        |
| 議員  | 57万円      | 955万8,900円   | 期末手当の一部        |

※新型コロナウイルス感染症対策としての削減を除く。また、上記に加え、教育長などの給与を5%と期末手当の一部、部長・副部長・課長の管理職手当を10%、課長補佐職相当以上の給料を2.5~3.5%削減しています。

## 決算から見る人件費と給与費

### ■人件費の割合



### ■令和元年度一般会計の職員給与費の状況

| 給与費     | 総額         | 職員数    | 平均給与費 |
|---------|------------|--------|-------|
| 給料      | 35億1,552万円 | 1,008人 | 630万円 |
| 職員手当    | 12億6,548万円 |        |       |
| 期末・勤勉手当 | 15億7,662万円 |        |       |
| 合計      | 63億5,762万円 |        |       |

※職員手当は退職手当を除く。  
※再任用短時間勤務職員を除いた職員数は970人。

言葉の意味

人件費…職員の給与や退職手当、年金、健康保険などの使用者負担分や特別職の給料・報酬など▷給与…給料や職員手当、期末・勤勉手当など▷給料…勤労に対して支払われる基本給

策経費の財源確保のために、市長、副市長、市議会議員の給与など約1350万円の削減を行っています。

## 休暇や研修の取得状況

休暇の種類などは、規則で定められています。民間企業の有給休暇に当たる年次休暇の令和元年度年間取得日数は、11・2日です。令和元年度新たに育児休業を取得したのは23人(男性2、女性21)です。

また、多様化・高度化する市民ニーズに的確に対応できる職員を育成するために、職員研修を行っています。令和元年度は、市独自研修(824人受講)、派遣研修(147人受講)を実施しました。

## 市ホームページなどで12月上旬に公開します

職員の勤務条件や採用試験の状況など、人事行政全般は、市ホームページと市役所2階の市政情報コーナーで閲覧できます。



## 職員の手当

扶養・住居・通勤手当や時間外勤務手当の他にボーナスに当たる期末・勤勉手当などがあります

### ■各種手当と平均支給額

|        | 内 容  | 令和元年度<br>平均支給年額 |
|--------|--|-----------------|
| 扶養手当   | 配偶者に6,500円▷子に1万円▷扶養親族1人につき6,500円▷16歳の年度初めから22歳の年度末までの子は各5,000円を加算      | 24万2,513円       |
| 住居手当   | 借家居住者に家賃額に応じて100円~2万7,000円▷自宅居住者に2,100円▷当該住宅の償還金を支払っている場合は8年間に限り4,600円 | 13万5,481円       |
| 地域手当   | 給料と扶養・管理職手当合計額の10%   | 38万 734円        |
| 通勤手当   | 交通機関利用者に運賃など相当額を支給(上限は5万5,000円)▷交通用具利用者(通勤距離が片道2km以上)に3,500円~3万2,800円  | 12万 612円        |
| 特殊勤務手当 | 業務手当や年末年始特別勤務手当、出勤手当など8種   | 9万3,294円        |

### ■退職手当

|            | 自己都合                 | 勸奨・定年        |
|------------|----------------------|--------------|
| 勤続20年      | 19.6695月分            | 24.586875月分  |
| 勤続25年      | 28.0395月分            | 33.27075月分   |
| 勤続35年      | 39.7575月分            | 47.709月分     |
| 最高限度額      | 47.709月分             | 47.709月分     |
| その他の加算措置   | 定年前早期退職特例措置(2~30%加算) |              |
| 令和元年度平均支給額 | 231万9,000円           | 2,197万4,000円 |

### ■期末・勤勉手当

| 川西市   |       | 国     |       |
|-------|-------|-------|-------|
| 期末    | 勤勉    | 期末    | 勤勉    |
| 2.6月分 | 1.9月分 | 2.6月分 | 1.9月分 |

※役職上の段階、職務の級などによる加算があります。なお、課長補佐相当職以上の勤勉手当は0.05月分の支給を凍結し、1.85月分としています。

### ■時間外勤務手当

| 令和元年度<br>支給総額  | 令和元年度<br>平均支給年額 |
|----------------|-----------------|
| 2億4,850万4,712円 | 34万5,145円       |

## 職員数

### ■令和元年度採用・退職の状況

| 職種    | 区分 |    |
|-------|----|----|
|       | 採用 | 退職 |
| 一般行政職 | 9  | 20 |
| 医療職   | 3  | 2  |
| 福祉職   | 14 | 9  |
| 消防職   | 7  | 2  |
| 企業職   | 0  | 6  |
| 技能労務職 | 5  | 6  |
| 教育職   | 16 | 4  |
| 合計    | 54 | 49 |

### ■職員数の状況 (各年4月1日現在)

| 部 門        | 職員数(前年増減) |             |          |
|------------|-----------|-------------|----------|
|            | 令和2年度     | 令和元年度       |          |
| 一般行政       | 議 会       | 8( 0)       | 8( 0)    |
|            | 総 務       | 148(△ 5)    | 153( 25) |
|            | 税 務       | 42( 0)      | 42( 0)   |
|            | 労 働       | 3( 0)       | 3( 0)    |
|            | 農林水産      | 6( 1)       | 5( 0)    |
|            | 商 工       | 7( 0)       | 7( 2)    |
|            | 土 木       | 126(△ 1)    | 127( 2)  |
| 特別行政       | 民 生       | 220( 12)    | 208( 22) |
|            | 衛 生       | 144( 6)     | 138( 0)  |
|            | 教 育       | 138( 2)     | 136( 1)  |
| 公営企業など     | 消 防       | 152( 2)     | 150( 3)  |
|            | 病 院       | 0(△ 9)      | 9(△261)  |
|            | 水 道       | 39( 0)      | 39(△ 3)  |
|            | 下 水 道     | 28( 0)      | 28( 0)   |
|            | そ の 他     | 48(△ 3)     | 51( 5)   |
| 合 計        | 1,109( 5) | 1,104(△204) |          |
| 短時間勤務再任用職員 | 30(△ 8)   | 38(△15)     |          |